

土居義昌(香川県観光振興課)

：バンジャマン氏との交流を通じて感じたことや彼の訪問を受けての印象

→映画関係者なので、観察眼がかなり鋭いように感じた。

単にみたまの風景だけではなく、

歴史的な背景や地域の事情を考えて、映像が生まれた背景を探っていたと思う。

香川での映像は、そういう深い背景があつてのものが多く、

とてもありがたい。

(解説)

都会での撮影では、単に、「撮影可能な岸壁」「屋上で撮影可能なビル」

といった具合に、「その場所でなければならない」という強い理由が

ないことが多いが、香川での撮影は、例えばセカチューのように、

「穏やかな漁港で、夕日が見えるところ」という香川の特徴が現れるような

ロケが多い。

>：次回、フランス・香川の映画交流の場が持てるとしたら、彼に何を聞きたいかもっともっと香川の様々なシーンを紹介して、

「フランス人からみた香川の印象」について話が聞きたい。

また、香川を売り出すには、どんなものが必要か、あるいはどこが売れるのか、教えてもらいたい。

>その他、何かご感想があればご遠慮なく書いてください。

二十四の瞳映画村が、とても興味を持っていた。

大西和孝 (e-とびあかがわの映画講座の塾生)

>：バンジャマン氏との交流を通じて感じたことや彼の訪問を受けての印象

日本のありとあらゆることに熱心に、真面目に、好奇心旺盛に、観たり、取り組んだりしている姿を敬意を持って拝見してました。魅力的な奥さんと、とても仲良く話し合っていることも印象に残っています。1回目にお会いした時DVDをお渡ししましたが、2回目にお会いした時夕陽の感想を言っていただきとても嬉しく、誠実な方だと感激しました。

残念だったのは、私は元旦に観音寺の琴弾八幡宮に参拝しましたが、彼と会った時に、日本の初詣の風習や一年の平安や無事を祈ることを紹介したり、できれば絵馬や破魔矢、福の熊手などを紹介し、何かお二人にプレゼントしお二人にとって今年がよい歳となるように祈ったり、日仏親善友好が続くよう願っておけばと思いました。

>：次回、フランス・香川の映画交流の場が持てるとしたら、彼に何を聞きたいか北野武の映画の描く『不安定さ』に惹かれるとのお話がありました、

日本映画で好きな(想い出に残る)、シーンや台詞について聴きたいと思いました

>その他、何かご感想があればご遠慮なく書いてください。

僕は瀬戸内海が好きで、映画が好きで『瀬戸夢クラブ』の名前で映画を撮っています。彼の音は心を落ち着かせてくれますし、時には励まし、時には慰めてくれているようにも聴こえます。安らぎの海ともいえるし、癒し海とも感じます。

瀬戸の浜辺にたたずむ男と女が二人、夕陽を見ながらどんな会話を交わす映画を、あなたなら撮りますか?こんなことをお聴きしたいです。思いつくまま書きました。